



5年生が野外活動に出かけます。今年度は、行き先は種差です。25日(火)の全校朝会で、5年生から出発に際しての発表がありました。

野外活動は27日(木)28日(金)に行われます。

走って戻ってくる 子ども達

～休み時間からの切り替え

「自分達でできることを増やすために」
当たり前のことでもできるように

朝の「南部ダイバー」、業間時間や昼休み後の「チャイム」になると子ども達が走って戻ってくる子が増えました。遊びから帰ったら、手洗い・うがいをして勉強に向かいます。2学期のはじめ、「生活のリズムを取り戻すこと」、そのために「当たり前のことができること」に取り組んでいます。

伊藤先生からは「廊下を歩こう」



始業式が終わったあと、伊藤先生からお話がありました。「1学期を思い出すと、できるようになったこともあるけれど、課題もありました。まず、はじめに直さなければならないのは、廊下の歩き方です。また階段を走ることです・・・」

さっそく休み時間のようすを見ていました。一気に走る人が減りました。うっかり途中から走ってしまう子にも「歩くんだよ」と声をかけてくれる子もいました。「当たり前の生活」ができることがよいスタートになると考えます。



“当たり前”ができるようになってきた。ということとは・・・ 「以前はできていなかった」ということ？

言いつけを聞き入れる素直さを持っています。一方で、4月を思い出すと、その「当たり前」ができていない子が少なくはなかったことも事実です。ほっておくと、ちゃんとやっている子もいなくなってしまいます。先生方で、「あきらめずに、教えていこう」と申し合わせて段々よくなりました。「もう少し」ですがまだよいとは言えません。そんな課題も拾いながら全校で取り組んでいきます。

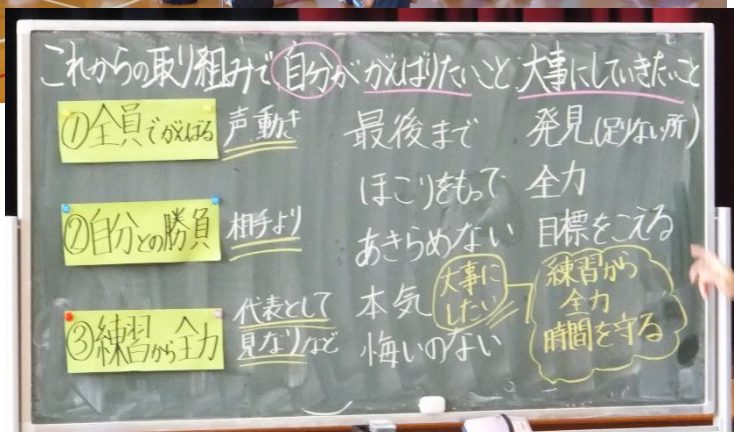
※ 子どもですから、できないことがあったり足りないことがあったりするのはいずれ当然だと思います。うちも学校も、その足りなさを満たしていくべく取り組む場所なのではないでしょうか。

そのことをお分かりいただいていると思いますので、子ども達ができていないこともあえてお伝えしていこうと思います。そして、その課題に対して取り組んでいる様子をお伝えすることで応援の目で見えていただきたいと思います。そうやって取り組んで行って、できたことやよいことをお伝えしたときには、みなさんに喜んでいただけるのではないかと思います。

陸上練習始まる

4・5・6年生が集まって、陸上記録会の取り組みについて話し合いが行われました。「自分ががんばりたいこと」や「大事にしていきたいこと」を出し合いキーワードにまとめていきました。意見を出し尽くし、あとは6年生にそれらの意見を取り入れながらスローガンにまとめてもらうことにしました。そしてできあがったスローガンが「**全力進歩**」です。

今年は、新型コロナの影響で種目を減らし規模を縮小しての記録会です。小学校最後になる6年生を優先し4年生の種目はありません。それでも、4年生は練習に参加するそうです。5年生も参加できる種目は少ないですが、まずは全員参加です。「記録の更新」、「体力の向上」、「フォームや走り



方を覚える」、「最後までやり切ることの挑戦」、…。それぞれに目標を

陸上記録会取り組みスローガン

全力進歩

④全員で一丸となり、⑤力を出し切る！
自分を⑥化させて、記録更新へ⑦進む！

持って取り組みます。そうやって取り組んだあとに、子ども達にはどんな思いが残るのでしょうか。たくさんのことを感じるチャンスでもある陸上の取り組みが始まりました。



校庭がぬかるんで使えなくても、体育館で練習

ブラスの練習も

コロナの影響で「海の子ブラス」の練習もままならない今年度。特に新入部員の4年生は練習が足りません。「せっかく楽器演奏にあこがれて入部したのに、その気持ちに添えて練習させてあげたい。少しでも上手にさせてあげたい。」ということから、放課後の陸上の練習の「何回かに1回」という割合で、4年生の集中個別レッスンを行うことにしました。陸上の季節が終わると次は運動会、……。と練習のチャンスがなかなか難しくなります。陸上の練習も大事ですが、ブラスの練習にも両立して励んでいます。

